

文書館ふくい

福井県文書館

検索

NO.72 福井県文書館

平成28年4月発行

〒918-8113 福井市下馬町 51-11 電話 0776-33-8890 URL <http://www.library-archives.pref.fukui.jp/>

資料叢書が刊行されました

資料叢書第12巻『福井藩士履歴 4』が刊行されました。

福井藩家臣団（士分以上）の職務履歴が記された「剥札」「士族」（松平文庫、福井県立図書館保管）を家ごとにつなぎ、アイウエオ順に組みかえた藩士履歴です。第12巻には「た～ね」が載っています。

ご希望の方は閲覧室カウンターまでお申込みください。

☆ホームページからも見るができます。



文書館 HP トップ→刊行物 をクリック

☆過去に刊行された叢書もご利用ください。

第1・2巻 『元禄期越前の幕府領大庄屋日記 1・2』

第3巻 『若狭国小浜町人の珍事等書留日記』

第4～8巻 『越前松平家家譜 慶永 1～5』

第9～11巻 『福井藩士履歴 1～3』

講座案内

◎フィアラ先生の世界をつなぐゼミナール

『平家物語』の異本を読む（6回シリーズ）

日時：5月21日（土）7月23日（土）
9月24日（土）・11月26日（土）
1月21日（土）・3月4日（土）
13：30～15：00

講師：カレル・フィアラ
（文書館副館長、福井県立大学名誉教授）
会場：文書館研修室
定員：40名（要申込）



*『平家物語 上巻』佐藤謙三校注（ISBN4-04-400701-2）
（角川ソフィア文庫）を用意して、受講してください。

◎古文書入門講座（3回シリーズ）

日時：6月12日（日）・19日（日）・26日（日）
13:30～15:30

内容：古文書のくずし字解読のための講座です。
（入門者むけ）

講師：文書館職員
会場：文書館研修室
定員：40名（要申込）



*電話・FAX・メールにてお申し込みください。

定員に達し次第申し込みを締め切ります。

電話（0776）33-8890

FAX（0776）33-8891

E-mail bunshokan@pref.fukui.lg.jp

ちょっと昔の4月風景



▲桜 昭和36年 60385



▲乙女みこし 昭和58年 68871

文書等点検

4月11日（月）～15日（金）は文書等点検のため、休館します。

4月の開館日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

は休館日です

ご利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで

フレンドリーバスをご利用ください



■今月の展示■

福井県文書館月替展示 2016.1.29-4.10

屏風の下張り

- 寄合所の資料からよむ城下の暮らし -

タイムカプセル

下張りから、200年前の福井城下の資料が！

福井城下の「寄合所」は、城下の11町組の有力町人から選ばれた組頭が運営する町奉行所の下部組織であり、その合議「寄合」が開かれる場でもありました。

この資料は、組頭や町輪番庄屋が回覧し、受領印を押して、ふたたび寄合所に戻されたものが、屏風の下張りとしてリサイクルされたために、まとまって残ったものです。

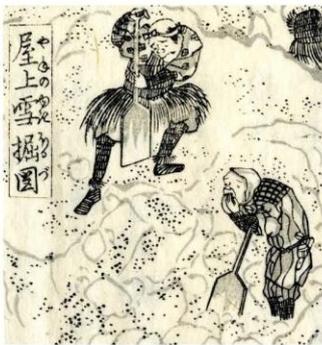
資料からは、それまで知ることのできなかつた200年前の寄合所の具体的な業務と役割を知ることができます。



城下寄合所のしごと

町奉行所からの触書や通達の町民への伝達、領内各所へ順送りに運ばれる通知の頻繁な発送、そして実にさまざまな人足の徴用などが、この資料からわかる寄合所のおもな業務です。

さらに、株仲間札の配付や冥加金の上納の仕方、参勤交代をめぐる儀礼や年中儀礼の打ち合わせ、緊急的な事態への協議などのために、寄合もたびたび開かれていました。



大雪の際は、雪かきへのべ2万人の雪かき人足が！
鈴木牧之『北越雪道』より

屏風の中から貴重資料が出てくるとは仰天じゃな。まさに歴史の宝石箱や〜。



福井市街では、たび重なる大火や水害、空襲・地震によって町の自治や町人の暮らしを知ることのできる資料が驚くほど残されていません。文書館では、二十年前に屏風の下張りからまとまって見つかった福井城下「寄合所」の資料をこのたび整理し、公開することになりました。これらの資料からわかる二百年前の人びとの暮らしを紹介します。

■次回の展示案内■

タイトル：「和紙のライフサイクル」(仮)

期 間：平成28年4月16日(土)～6月22日(水)